

スポーツの素晴らしさを子どもたちに

羽合小学校は「令和4年度鳥取県小学校体育研究発表大会」の指定を受けて、体育の研究に取り組んでいます。その取組の一つとして、今年度はこれまで4回トップアスリートを羽合小学校にお招きし、スポーツ教室を開催してきました。子どもたちにスポーツの素晴らしさ、夢や憧れを持ちその実現のために努力することの大切さを感じてほしい。そのような思いで始めた取組です。

鳥取ガイナレで活躍された元センターバックの「内間安路」さん、世界空手選手権優勝、全日本5回、アジア大会3回の優勝経験がある「宇佐美里香」さん、なわとびの世界選手権第3位、ギネス記録もお持ちの小学校教諭「三村大輔」先生、そして羽合小学校をはじめ県内7校が「令和2年度オリンピック・パラリンピック教育推進校」として認定された事業でお招きした、シドニーオリンピックにトライアスロンで出場の「小原工」さんから、お話を聞いたり一緒に運動したりしました。このニュースはTCCや日本海新聞でも取り上げていただきご存じの方も多いと思います。

講師にお招きした方に共通していたことが、「自分はどのような自分になりたいのか、何が本当にしたいのか」を考え、「自分で決める」、「前向きに考える」ことが大事だということ、苦しくてもそれががんばれるモチベーションになったということでした。

子どもたちは運動やスポーツの楽しさだけでなく、自分の好きなことに一生懸命取り組むことの大切さを感じてくれたことと思います。スポーツにもっと関心を持ってほしいと企画したスポーツ教室でしたが、これから自分はどう生きていけばよいのかを考えるよい機会になりました。「自分にはやっていることがあります。今まで以上にがんばりたいと思います。」「もっといろんなことに挑戦したいです。」「これからもっともっと練習して強くなりたいです。」子どもたちが発表していた感想です。

どのような自分になりたいか、何がしたいかを考えることは、まだ小学生の子どもたちには少し難しいことかもしれません。まだまだ進路選択は先のことのように思いがちです。しかし、今の自分でいいのかな、目標に向かって努力することは大切だと考えられる子どもになってほしいと思っています。

陸上のパラリンピアン村上清加選手、そして本校の卒業生が活躍している鳥取城北の女子相撲部の皆さんにもスポーツ教室で来校してもらう予定でしたが、新型コロナの感染拡大の影響で残念ながらできませんでした。しかし、今年度取り組んだスポーツ教室を通して、スポーツの素晴らしさや、夢や憧れを持ちその実現のために努力することの大切さを感じてほしいという思いは、確実に子どもたちには伝わったことと思います。挑戦する気持ちやもっと上を目指す向上心を持って頑張る羽合っ子が育つよう今後も羽合小学校は取り組んでいきます。

